

9月24日（火）に、“第一回なないろの会（こどもの里利用者の座談会）”を行いました。今回は、こどもの友社の田力剛氏をお迎えして、【子どもとメディアについて】という題でお話をいただきました。当日は、4名の保護者の方にご参加いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

電子玩具（子供向けアプリ、動画視聴など）は、五感（視覚、嗅覚、聴覚、触覚、味覚）のうち、“視覚”しか使っていない、と言われている

○例えば、何か知りたいことがあったとき、図鑑や辞書で調べるか、ウィキペディアで調べるか…

- ・ウィキペディアはたくさん調べられるが、簡単にできて考えないので、すぐに忘れてしまう。
- ・図鑑や辞書は少ししか調べられないが、考えながら調べるので、覚えていることが多い。

○テレビ、ゲーム、スマートフォンを比べて、一番スマートフォンが脳を動かなくさせる、と言われている。

こんな体験ありませんか？ … 忘れないように写真を撮っておけばいいや！

後で調べればいいや！ 簡単な計算も電卓を使っちゃお！

○動画を見ると子どもの動きが止まる = 脳（特に前頭葉）は働いていない。前頭葉とは脳の中で、

感情、思考、やる気を司る機能を持っており、メディアに触れている時はこの前頭葉が休んでいる状態。

砂場、積み木、水遊び等に夢中 = 脳（前頭葉）が活発に働いている ←この時間を大切にしていきたい！

おでかけのまえに



読んだことありますか？【...おでかけのまえに...】

ピクニックにでかける前の、小さい女の子(あやこ)のはずむ心と、子どもの気持ちに寄り添う両親の姿をていねいに描きだしています。ごくあたりまえの家庭を舞台にした、のびやかでほのほのとした絵本です。

→絵本に登場する女の子のように、知りたい！気になる！
やってみたい！（意欲と好奇心）と思える子に育てたい

○メディアだけにならないよう、実際にやってみたり、行ってみたい、親子で体験を共有・共感する

- ・絵本を読む = 最後まで聞く力、親子のスキンシップ、同じ方向をむいて楽しむ

読むならいい絵本を！ 子どもに媚びたかわいらしい絵でなく、親が選んだ方がいい。（絵は芸術、文は文章）

○子どもが遊んでいて、「ママきて～」と呼ばれた時に答えてあげる。

“大好きなママがわかってくれた！”が、あそびの意欲や集中に繋がる。あそびが持続する。

- ・大人に話を聞いてもらっている子は、人の話が聞けるようになる。
- ・失敗は大チャンス！（例）ホットケーキ作りで粉をこぼした時、怒らず半分入ったことを褒めましょう😊

【 保護者の方より 】

- ・子どもが同じ絵本を何度も「読んで」と持ってくるが、それはいいのか？

→子どもはそれを読むことで“楽しい、幸せ、満足、安心”を感じられるから選んでいるので、何度も読んであげたらいい。1冊でもお気に入りの絵本ができれば、読み聞かせは成功している！

- ・スマートフォンの画面を白黒にすると面白みが減る。設定で簡単に変えられる。（実践している方もいました）